



情報共有の垣根がぐっと下がり
新しいチャレンジがどんどんできるようになった

シミックホールディングス株式会社 様

社員数約 6,000名 SharePoint 2010 サービス業

導入目的



- SharePoint を情報共有に活かす環境づくり

課題



- 社内に SharePoint の技術者を最小限に留めておきたい
- 会社内の情報を手軽に共有したい

効果



- 社内に専門の技術者を確保せずとも SharePoint を十分に活用できるようになった
- 情報共有の垣根が下がった

お客様の声をご紹介します



コーポレートサービスグループ IT サービス 開発チーム 石川 剛之氏

—シミックホールディングス株式会社について教えてください。

弊社は医薬品開発支援を行っている会社です。簡単に言うと薬に関わることを全般のお手伝いですね。今までは製薬会社が、開発から一般販売に至るまで行っていたのですが、そのサポートをしていくのが私たちの仕事です。具体的に言うと薬が世に出る前にはテストをしたり、国から承認をいただいたりするフローがあるのですが、そういったところをお手伝いしています。弊社は製薬会社ではないので開発はしていませんが、薬の卵みたいなところからお手伝いしています。

—SharePoint をどのように活用していますか？

シミックイントラネット（全社情報ポータルサイト）として利用しています。一番多いのは本社からの情報共有としての使い方です。最近では浜松町への移転がありましたので、移転に関する情報を載せるページなども作りました。浜松町移転サイトは今一番、会社内で見られているサイトです。

—SSS 導入のきっかけは？

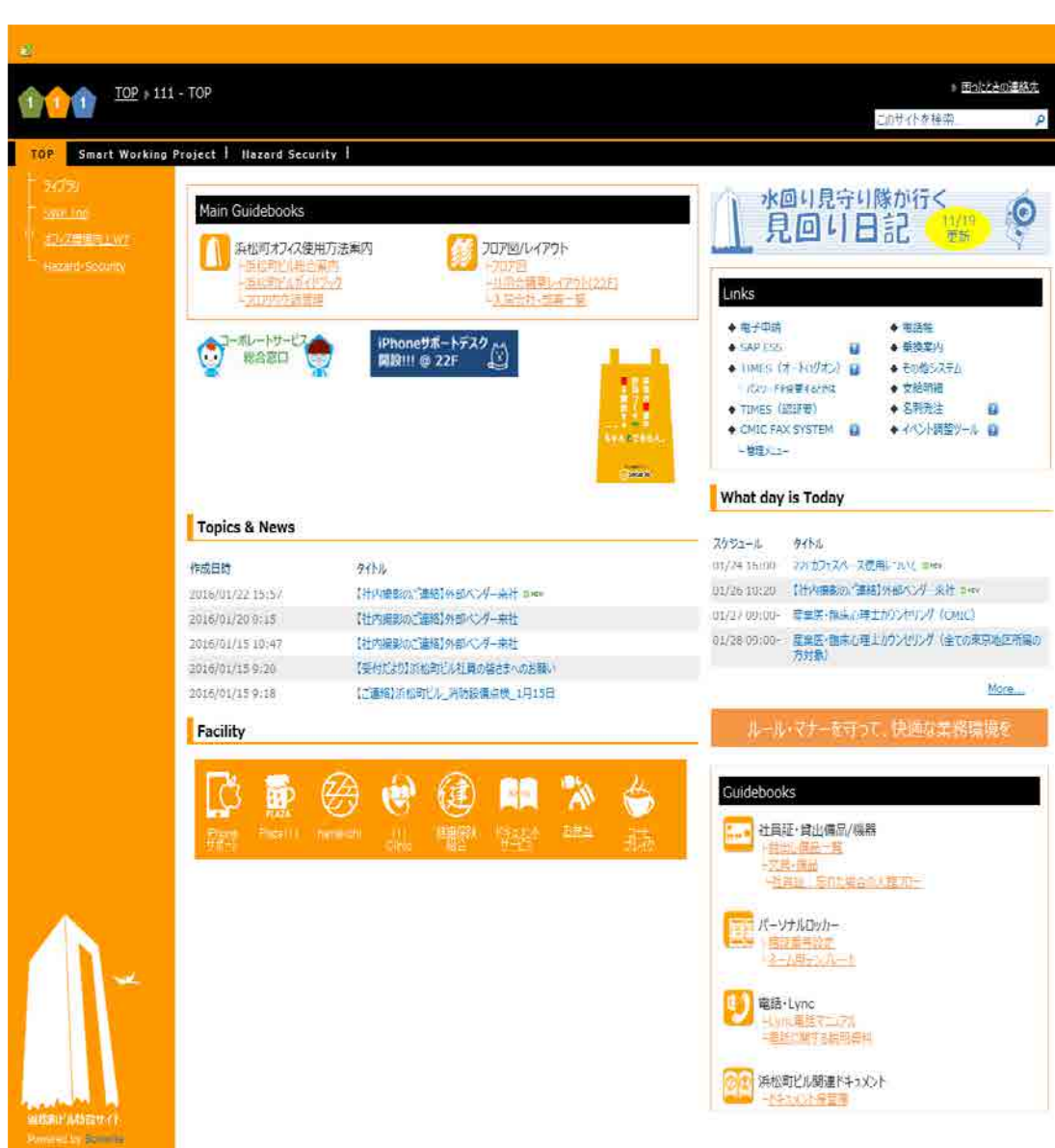
弊社に、もともとあったシミックイントラネットのデータ移行時からの付き合いです。SharePoint の導入は弊社の中でも新しいチャレンジだったので、そこを前面にサポートしてもらいました。当時は SharePoint について詳しい者がいなかったのでもちも助かりました。

—SSS 導入のメリットは？

こちらから「こんなことできないかな？」と相談することができるようになり、実験的な試みや攻めの情報共有ができるようになってきましたね。SharePoint のサポートをしてもらってからは、だいぶ間口が広がって物事が進めやすくなりました。

—SSS の利用の仕方は？

要件定義から最後の仕上げまでやってもらうこともありますし、技術的なアドバイスだけもらうこともあります。そう考えるといろんな手伝い方をしてもらっていますね。かなり柔軟に対応してもらっています。



浜松町移転サイト
左下に Power by Sonorite と弊社の名前が！！

—SSS が貴社とマッチしているところは？

攻めと守りの両方を柔軟に対応してもらえると。攻めでは、新入社員が入った後にやるべきことをまとめたページや、コミュニケーション取れる場所を一緒に作っているところ。また、SharePoint の可能性を探るべく技術検証やサンプルの作成を相談し、新たな情報共有方法を一緒に作り上げています。守りでは、会社の基幹資料を置く場所や、エラーが出た時のサポートをお願いしています。SSS では今までお願いしたこと、無理と言われたことはありません。もし、できない場合は「これはできないけど、これならできます。」と必ず他の案を用意してもらっています。「こうしておけば後々楽ですよ！」と、うまい使い方、先に繋がる使い方も同時に提案してもらっています。



藤崎 照浩氏

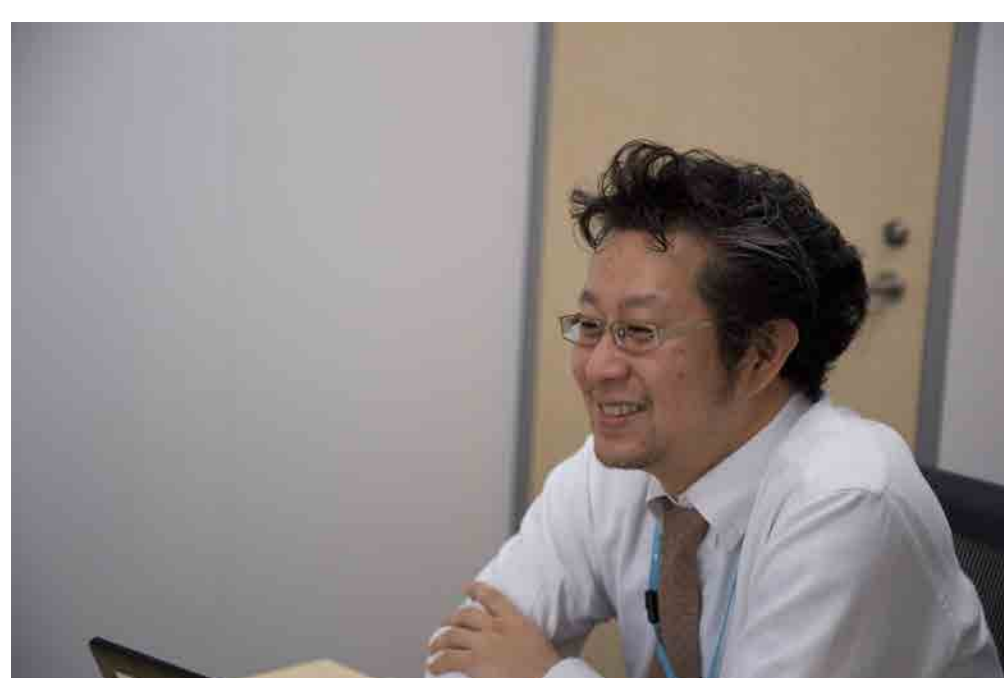


—導入後どんな変化がありましたか？

まず、相談する人ができて、やりたいことをどんどん実現できるようになってきたことですね。前のシミックイントラネットには業務に必要な一握りの情報しか載せていなかったんです。今では、会社の様々な情報を掲載しています。例えば今週末ビルの停電があったのですが、以前はそういった情報はメールでお知らせしていました。最近ではシミックイントラネットでご案内するようにしています。だんだんと SharePoint の使い方がふくらんできています。今では SharePoint の垣根がすごく低くなり、「みんなへ情報を提供する」ということに抵抗がなくなりました。

—SSS 活用で生まれたメリットや業務改善があれば教えてください。

法務の閲覧システムなども SSS で作ってもらいました。元々は紙で受け取っていて、法務部が一生懸命審査をして「この部分を直してください」と個々に対応していった流れだったのですが、それをオンライン上で管理、ワークフローを回して、手軽にフィードバックができるようになったのでこの閲覧システムはとても重宝しています。他にも SharePoint と Lync、メールの写真連携も行いました。個人が自由に SharePoint から写真を変更して、Lync やメールのアイコンに適用できるようにしました。浜松町に移転して今まで別々だった会社をまとめたので、写真があることでコミュニケーションが円滑になりました。弊社はフリーデスク制も採用しているので、社員同士を調べるのにも使いやすいみたいです。新入社員が入ってきたときも、最初は人事が写真を撮って SharePoint にアップロードするのですが、このシステムのおかげで一回で済むようになりました。情報の発信の仕方も随分と変わりました。何かお知らせしたい内容があった場合は SharePoint のページを作りこんでいたのですが、もっとユーザーの情報発信力を上げようと、ページを作りこまずにパワーポイントで作った資料をすぐに載せて見られるようにしました。ユーザーが使い慣れたパワーポイントを利用することで、HTML を使う必要なく、情報発信ができるようになりました。



代表取締役 CEO 中村和男さんが館長を務める中村キース・ヘリング美術館について紹介されています。



シミックホールディングス株式会社の CRED の前で SSS も一緒に変革していきます。

—今後どのようなことに重点をおいて SharePoint の運用を行っていきたいですか？

ユーザー同士がコミュニケーションを取る場として使っていきたいです。SSS を利用し始めて、SharePoint でしかできない、という強みがあるように思いました。今後も一緒に検討を重ねていきたいです。他にもユーザーサポートの比率を上げて、SharePoint の垣根をもっと低くしてもらいたいです。現状はほとんどのユーザーが閲覧する側ですが、これからは発信者になっていけるようなサポートや提案をお願いしたいと思っています。



社名 シミックホールディングス株式会社
従業員数 5,898 名（連結子会社含む / 2015 年 9 月末現在）
事業内容 CRO（医薬品開発支援）事業 / CSO（医薬品営業支援）事業
CMO（医薬品製造支援）事業 / IPD（知的財産開発）事業 / ヘルスケア事業
HP <http://www.cmic-holdings.co.jp/index.shtml>